

中京経営研究

第9巻 第2号

2000年2月

目 次

C. I. バーナードを越えて — 中條秀治『組織の概念』を機縁として —	三戸 公 (1)
ストア小売における業態と複合生活空間にみる新傾向 — 日米比較研究 —	市川 繁 (27)
会社の社団性と法人性を考える — 団体の概念を手掛かりとして —	中條 秀治 (73)
コンピュータと親しみやすい友人との イメージにおける比較	向日 恒喜 (87)
日本的経営慣行とアジアでの現地適用 — タイで学んだことの上になって —	中井 壽 (99)
自動車解体業の活性化に関する研究	濱島 肇 (113)
中国における日系企業のコーポレート・ガバナンス	常 紅 (133)
職能資格制度における有効性と限界 — 非営利組織(私立大学)を事例として —	杉山 直 (155)
自己実現と規律	山下 剛 (175)

研究ノート

「福祉国家」と日本の労働運動 — 「福祉国家・スウェーデン」を素材として —	猿田 正機 (201)
日本の政策構想をめぐって (1) — 吉野信次とその時代を中心に —	寺岡 寛 (245)

書 評

奥村洋彦『現代日本経済論 — 「バブル経済」の発生と崩壊 —』 (東洋経済新報社、1999年)	寺岡 寛 (255)
白木沢旭児『大恐慌期日本の通商問題』 (お茶の水書房、1999年)	寺岡 寛 (263)